

# 渋川市議会 会派 きぼう・政策調査会・副議長視察研修報告

平成29年11月17日

副議長 安か川信之

政策調査会 代表 中沢広行

きぼう 代表 望月昭治

1.視察日程： 平成29年10月29日～31日

2.視察場所： 台湾（台北市・彰化縣政府・員林市・社頭郷・高雄市）

3.視察議員： 副議長 安か川 信之

きぼう 望月 昭治・茂木 弘伸・星野 安久

政策調査会 中沢 広行・細谷 浩・山内 崇仁・池田 祐輔

4.視察概要： 台北市の世界貿易センターで開催された、ITF台北国際旅行展へ出展している渋川市のブースと他出展ブースとの比較を目的とした視察を実施した。  
また、員林市並びに社頭郷との友好協力協定調印式に出席する高木渋川市長に、議会として同行した。

5.視察報告：（1）ITF台北国際旅行展視察（平成29年10月29日）

平成29年10月27日～30日の日程で台北貿易センターを会場に開催された。この旅行展はアジア最大の旅行展であり、25回目の今回は36万人超と過去最高の来場者となった。

この旅行展への参加団体数は、68ヶ国・950団体・1650ブースであり、日本からは75団体142ブースが参加をした。本市も伊香保温泉

のPR動画の放映や、観光パンフレット2千部の配布など市長自らによるトップセールスを行った。我々議員団は担当職員を激励し、他のブースの展示方法などを調査した。



澁川市伊香保温泉のブースで担当職員から説明を受ける

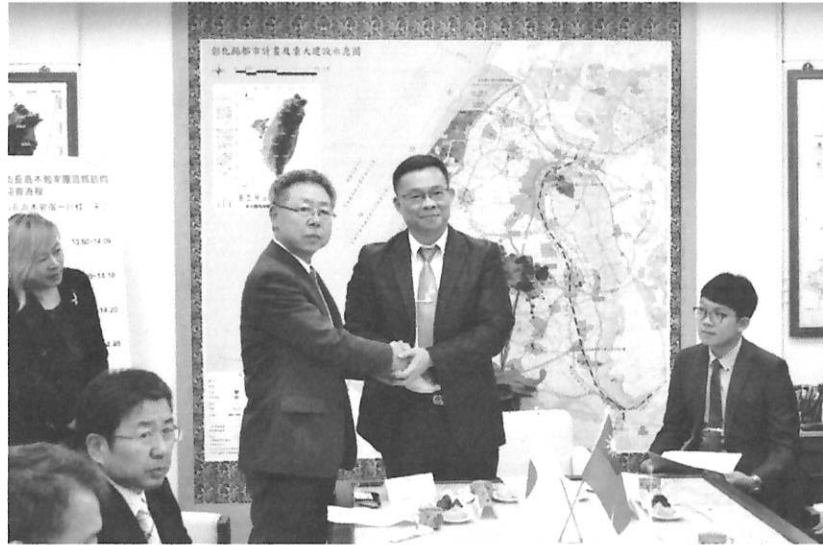


台北国際旅行展の会場の様子

(2) 彰化縣政府表敬訪問（平成29年10月30日）

副縣長のあいさつでは、彰化縣の人口減少対策として出産祝い金制度

（1回3万円・10万円程度）を実施していることや、經濟發展を最優先課題として、エコエネルギー（風力發電）と貿易產業の發展をテーマに政策を進めているとありました。



副縣長と握手を交わす高木市長



スーパーマーケットで説明を受ける視察団



視察先のスーパーマーケット

(3) 社頭郷公所訪問（平成29年10月30日）

社頭郷は、靴下の生産が盛んで台湾の生産量の約8割を占め、グアバやライチ・米の生産も盛んである。渋川市と2014年11月に締結した友好協力協定を更新することで更なる友好を深め、両市の観光と経済の発展に力を入れることを確認した。



社頭郷公所での友好協力協定調印式の様子

(4) 員林市公所訪問（平成29年10月30日）

員林市は人口約12万5千人の年であり、古くから開拓や開発が行われていた都市である。その様なことから歴史的建造物も多く現存しており、市民の文芸への関心は高く国際文化芸術交流の拠点となっている。今取り組んでいる施策は、街を近代化して誰もが住みやすい都市創りを目指し、経済の発展を促していきたいとして鉄道の利便性を高めることが重要で、鉄道の高架化を進めているところです。員林市は台湾中部の中核都市であり、群馬の中核都市として発展を遂げようとしている渋川市と、今後も友好を深めることを確認した。員林市との友好協力協定の期間満了に伴う更新のための調印式に同席をした。員林市長は平成28年に渋川市への訪問が出来なかったが、交流を深めるため近いうちに渋川を訪問したい旨のあいさつがあった。



員林市公所で握手を交わす張錦昆市長と高木市長



員林市公所前にて

(5) 佛光山本山訪問（平成29年10月31日）

本山の副住職である<心保和尚>に対応していただき、また法水寺の総住職である<釈満潤>氏も渋川より駆け付け対応してくれた。佛光山は、大樹区に開山して50年が経ち、世界に300程の寺がある。この本山には、年間1000万人もの人々が訪れる観光名所となっている。佛光山では、教育・文化活動・慈善事業にも力を入れて、人々に歓喜を与え家庭と世界の平和を最大の理念としている。今後は法水寺の開山を機に渋川の皆様方とともに頑張っていきたいとのことでした。





仏光山で説明を受ける視察団

#### (6) 視察感想

台湾からの訪日客は年々増加傾向にあり、本県を訪れる外国人観光客の半数以上を占める。渋川市ではI T F台北国際旅行展への出店も有効な手段であり、また友好協力協定を結んだ、員林市や社頭郷との市民レベルでの交流事業を展開し、本市を訪れてもらえるよう一層の誘致活動を行うことが必要であると思う。